



議会だより 忠岡

第19号

令和5年2月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎0725-22-1122 (代)



忠岡神社にて十日えびす

次回の議会日程

いずれも10時より(予定)

2月28日(火) 本会議(施政方針、議案審議) 3月 2日(木) 総務事業常任委員会
3月 3日(金) 福祉文教常任委員会 3月 8日(水) 本会議(一般質問)
3月13日(月)・15日(水)・16日(木) 予算審査特別委員会
3月24日(金) 本会議(付託委員会報告、採決、意見書 等)

もくじ

12月議会の議案審議状況・意見書一覧	2ページ
常任委員会審査報告	4ページ
一般質問(今奈良幸子・三宅良矢)	5ページ
一般質問(前川和也・松井匡仁)	6ページ
一般質問(河瀬成利・小島みゆき)	7ページ
一般質問(北村孝・二家本英生)	8ページ
一般質問(河野隆子・是枝綾子)	9ページ
一般質問(勝元由佳子)・議会の流れ	10ページ
決算審査特別委員会 審査報告	11ページ
各種報告	15ページ
各種報告・編集後記	16ページ

令和4年12月議会の議案審議状況

令和4年 第4回定例会提出案件

議案番号	件名	議案内容	議決結果
認定 第1号	令和3年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	令和3年度予算が適正に使われたかを審議します。 (詳細については11～14ページに記載しています)	認定
認定 第2号	令和3年度忠岡町下水道事業決算認定について	令和3年度予算が適正に使われたかを審議します。 (詳細については11～14ページに記載しています)	認定
議案 第46号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度一般会計補正予算(第6号))	一般会計歳入歳出予算の総額に194,536千円を追加し、歳入歳出予算を8,612,812千円とします。(詳細は3ページ)	承認
議案 第47号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	令和5年6月30日をもって任期満了となる人権擁護委員(2期目)が、引き続き3期目を委嘱されることに、議会の同意を求める内容です。	同意
議案 第48号	忠岡町固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和5年3月1日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員(2期目)が、引き続き3期目を委嘱されることに、議会の同意を求める内容です。	同意
議案 第49号	忠岡町教育委員会委員の任命について	令和5年1月1日より、新たに教育委員を委嘱されることに、議会の同意を求める内容です。	同意
議案 第50号	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	国家公務員の段階的な定年引上げに伴い、忠岡町職員の定年や給与等の規定を整備するための条例制定です。 【内容】①65歳まで段階的な定年延長適用 ②管理監督職(部長や課長等)の勤務上限年齢の設定 ③再任用短時間制度を選択できる仕組み ④退職手当の調整 ⑤定年(60才)に達した際の給与の引き下げ(約30%減)等 ⑥職員の分限及び懲戒処分による降給の規定整備	可決 全会一致
議案 第51号	忠岡町職員の降給に関する条例の制定について		可決 全会一致
議案 第52号	忠岡町の議会議員及び町の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	公職選挙法が改正され、忠岡町長及び議員選挙での公費負担額が、自動車のレンタル費用やガソリン代、選挙ビラなどで引き上げられました。	可決 全会一致
議案 第53号	忠岡町職員定数条例の一部改正について	教育委員会部局の職員定数が、子ども園開設に伴う効率化で18人削減され、町長の事務部局が18人引き上げられました。	可決 全会一致
議案 第54号	忠岡町議会議員の議員報酬及び費用弁償等条例の一部改正について	議員の賞与(6月・12月の期末手当)が、国の人事院勧告を受けて調整され、前年度より年間で0.10か月分引き上げられました。	可決 全会一致
議案 第55号	忠岡町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	町長・副町長・教育長の賞与(6月・12月の期末手当)が、国の人事院勧告を受けて調整され、前年度より年間で0.10か月分引き上げられました。	可決 全会一致
議案 第56号	一般職の職員給与に関する条例の一部改正について	一般職員や再任用職員の賞与(6月・12月の勤勉手当)が、国の人事院勧告を受けて調整され、前年度より年間で0.10か月分引き上げられました。若年層(30才台半ばまで)の基本給が全体的に引き上げられます。	可決 全会一致
議案 第57号	町税条例の一部改正について	①退職手当などで控除判定を受ける際に、一定の配偶者及び扶養親族の氏名等を記載し申告するようになりました。 ②個人住民税での住宅ローン控除の適用範囲が、令和4年から7年までに取得したものに限り拡大されます。 ③新型コロナウイルス感染症等にかかる住宅ローン減税控除期間の特例措置が終了します。	可決 全会一致
議案 第58号	忠岡町重度障害者等の医療費の助成に関する条例等の一部改正について	これまで生活保護の停止中の方は、重度障害者医療・子ども医療費・ひとり親家庭医療の各助成対象外でしたが、今後は対象となります。	可決 全会一致
議案 第59号	令和4年度忠岡町一般会計補正予算(第7号)について	一般会計歳入歳出予算の総額に794,464千円を追加し、歳入歳出予算を8,692,276千円とします。(詳細は3ページ)	可決 全会一致
議案 第60号	令和4年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	新型コロナの傷病手当金の増額(約100万円) 国民健康保険への積立金(約720万円:全体残高約7000万円) 清算金の返還など(約260万円)	可決 全会一致
議案 第61号	令和4年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	介護保険システムの機能拡充の伴い、国の補助金が増額されました。	可決 全会一致
議案 第62号	令和4年度忠岡町下水道事業会計補正予算(第1号)について	令和5年4月1日～令和7年11月30日の雨水ポンプ場の運転管理委託契約を継続的に行うため、令和4年度中に入札を行い、委託業者を決定するために、当該業務の施行に係る限度額を5,987万3千円引き上げるものです。	可決 全会一致
議案 第63号	令和4年度忠岡町一般会計補正予算(第8号)	一般会計歳入歳出予算の総額に740千円を追加し、歳入歳出予算を8,693,016千円とします。 年末年始の発熱外来体制設置のために、医療機関に支払う金額を追加しています。	可決 全会一致

議案第46号 令和4年度忠岡町一般会計補正予算(第6号)の主な内容

■ 補正予算額 194,536千円

(単位:千円)

歳出予算	194,536
1. 新型コロナウイルス感染症への対応	47,792
①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業	47,792
・水道使用料減免事業(期間延長)	14,798
・非課税世帯等生活支援金給付事業(増額)	30,900
・小中学校感染予防対策事業(増額)	2,094
2. 電力・ガス・食料品等価格高騰への対応	146,744
・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	146,744

歳入予算	194,536
①国庫支出金	194,536
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	47,792
・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金	141,200
・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事務費補助金	5,544

議案第59号 令和4年度忠岡町一般会計補正予算(第7号)の主な内容

■ 補正額 79,464千円

(単位:千円)

歳出予算	79,464
1. 人事院勧告に伴う人件費補正	△35,659
・人事院勧告に伴う人件費補正	△35,659
2. 新型コロナウイルス感染症への対応	16,794
①感染症予防対策事業	6,918
・保育所等感染予防対策事業	1,500
・民間認定こども園感染予防対策事業	1,700
・感染予防対策救急器具購入費	3,718
②新型コロナウイルスワクチン接種事業	9,876
3. インフルエンザ感染症への対応	5,242
・インフルエンザワクチン定期接種緊急促進事業	5,242
4. 過年度事業の精算に係る経費	16,809
①令和3年度の事業費確定に伴う国庫負担金等精算返還金	21,393
②令和3年度の事業費確定に伴う府費負担金等精算返還金	53
③令和3年度の国民健康保険特別会計の確定に伴う繰出金	△4,637
5. その他必要となる事業費	76,278
①ふるさと忠岡応援寄付金事業費(積立金含む)	20,000
②個人番号カード交付事業	765
③民間認定こども園保育士等処遇改善事業	4,441
④介護給付・訓練等給付費	41,324
⑤霊園使用料返還金	3,710
⑥その他	6,038

歳入予算	79,464
①国庫支出金	37,430
②府支出金	14,626
③寄付金	20,000
④繰入金	△8,148
⑤諸収入	15,556



令和4年12月議会の意見書一覧

議案番号	件名	議決結果
意見書第8号	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出について	可決 賛成多数
意見書第9号	インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について	否決 賛成少数
意見書第10号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出について	可決 全会一致
意見書第11号	マイナンバーカードの利用拡大、取得義務化につながる「健康保険証の原則廃止」等の中止を求める意見書の提出について	否決 賛成少数
意見書第12号	際限のない軍拡競争を招く軍事費倍増の中止を求める意見書の提出について	否決 賛成少数

※上記 意見書につきましては、一部賛否が分かれる結果となりました。

総務事業常任委員会報告

令和4年12月6日に開催し10件の議案について審議を行いました。

委員長 松井 匡仁 副委員長 今奈良 幸子
委 員 和田 善臣／北村 孝／二家本 英生／河野 隆子

審議結果一覧(2ページ目の「令和4年第4回定例会提出議案」のうち、次の10議案について)

議案番号	件 名	討 論	採 決					議決 結果
			今奈良	和田	北村	二家本	河野	
議 案 第50号	職員の定年の引き上げに伴う関係条例 の整備に関する条例の制定について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第51号	忠岡町職員の降給に関する条例の制定 について	賛成討論あり	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第52号	忠岡町の議会議員及び長の選挙におけ る選挙運動の公費負担に関する条例の 一部改正について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第53号	忠岡町職員定数条例の一部改正について	賛成討論あり	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第54号	忠岡町議会議員の議員報酬及び費用 弁償条例の一部改正について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第55号	忠岡町特別職の職員の給与に関する 条例の一部改正について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第56号	一般職の職員の給与に関する条例の 一部改正について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第57号	町税条例の一部改正について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第59号	令和4年度忠岡町一般会計補正予算 (第7号)について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第62号	令和4年度忠岡町下水道事業会計補正 予算(第1号)について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致

総務事業常任委員会は行政機関の運営や管理、ごみ処理、産業振興、災害対策、消防救急に関することなどを協議、調査、審議します。

福祉文教常任委員会報告

令和4年12月7日に開催し4件の議案について審議を行いました。

委員長 前川 和也 副委員長 三宅 良矢
委 員 河瀬 成利／小島 みゆき／是枝 綾子／勝元 由佳子 オブザーバー 和田 善臣 議長

審議結果一覧(2ページ目の「令和4年第4回定例会提出議案」のうち、次の4議案について)

議案番号	件 名	討 論	採 決					議決 結果
			三宅	河瀬	小島	是枝	勝元	
議 案 第58号	忠岡町重度障害者等の医療費の助成に 関する条例等の一部改正について	賛成討論あり	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第59号	令和4年度忠岡町一般会計補正予算 (第7号)について	討論なし	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第60号	令和4年度忠岡町国民健康保険事業 勘定特別会計補正予算(第1号)について	賛成討論あり	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議 案 第61号	令和4年度忠岡町介護保険特別会計 補正予算(第2号)について	賛成討論あり	○	○	○	○	○	可決 全会一致

福祉文教常任委員会は教育や子どもの福祉、生涯学習、高齢介護、地域福祉、健康増進に関することなどを協議調査、審議します。



今奈良 幸子 議員 （呈祥会・大阪維新の会）

第6次忠岡町総合計画基本目標 「便利で生活しやすいまち」猫について

問 今年度の猫の相談件数、相談内容、対応は？

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉2件、猫が敷地に入り糞をする・野良猫に餌を与えている、猫が寄り付かない対策をお願いする等の個別対応、ハンドブックの配布や泉佐野保健所を案内する。

問 町の猫が町道路や公園、住居内を歩き回り、岸和田の餌やり場にも行き、困っている相談を受けた。町の課題として対応が必要。ガバメントクラウドファンディングをする、大阪府所有者のいない猫対策支援事業に申請する、どうぶつ基金の行政チケットの登録等の何らかの対策を講じないのか？

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉町としての資金も必要とせず、近隣市町の多くも連携している事から実験的に動物基金との連携から始め、利用者が多くなれば更なる展開を検討。

問 大阪府動物愛護管理センターが発行している「猫との共生を考えるハンドブック」等、正しい情報が住民に届いていない。行政職員の皆様が情報を共有、理解し、実効性のある情報を調べたらすぐに分かる仕組みづくりを考えていただきたいが、いかがか？

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉今後もこうしたハンドブックの配布を初め広報紙、町ホームページやSNSを通じた適正な情報発信を行う。

基本目標「多様な価値観を尊重する まちづくり」子どもの人権について

問 子ども達が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において生命(いのち)の安全教育を促進することになっているが、町として、この教育促進をどうしていくのか？

答 〈教育部理事兼教育課長〉警察や外部講師の出前事業、CPAを実施している。今後も児童生徒が性に関して正しく理解し、適切な行動をとれるよう学習指導要領に基づく着実な指導を推進する。



三宅 良矢 議員 （無所属の会）

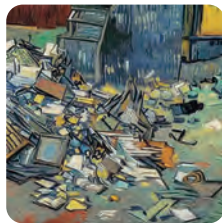
産業廃棄物の考え方

問 忠岡町の予定施設に持ち込めるごみに
①『産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律』で定める『特別管理一般廃棄物』は含まれるか？

②同じ定める『政令で定める20種類以外の事業系一般廃棄物』は含まれるか？

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉

- ①受け入れ想定していない。
- ②有害物質は処理困難として受け入れない。



問 忠岡町側に立って法規チェックを行う弁護士について

- ①産業廃棄物分野での知見や専門性は？
- ②産業廃棄物分野での紛争処理や民事などでの実績は？

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉

- ①知見や専門性は求めているので、このような観点で依頼しない。
- ②書類チェックがメインなので、実績は把握していない。

イベント開催に対する コロナ規制対応の違いは？

問 大津川河川や新浜などでの忠岡町が主体に関わるイベントは飲食制限を加えず、民間や住民中心の墓店、運動会、商工カーニバルなどは飲食制限をかけるなど、対応の差はなぜあるのか？

答 〈町長公室長〉大阪府のガイドラインに則っているので問題ない。

問 令和4年11月に大津川でのイベントを基準に、今後の開催内容は考えた方がいいか？

答 〈町長公室長〉そういう形で判断している。

司法書士の活用について

問 大阪司法書士会が災害時の被災者相談業務協定を、大阪府内の複数の自治体と結んでいる。平時での法律相談も協力してくれるので、忠岡町も締結に向けていくべきではないか？

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉特に考えはない。住民より相談あれば紹介して行ってもらっている。



前川 和也 議員 (呈祥会・大阪維新の会)

実行中の町長選挙公約から問う。 町民グラウンドの保全について

問 今年度予算に設計調査委託料が計上されている。表面を水勾配に敷均して転圧することや透水性の高い砂を使うことが想定されるが、これはその場しのぎの一時的な改善になってしまうかもしれない。公約に掲げた以上徹底した改修が必要であるが、工事が忠中生徒や利用者の負担にならないよう進めるべきではないか。

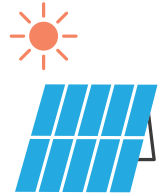
答 〈町長〉力を入れてやっていく。予算面について文科省やスポーツ庁とも連絡を密にしている。

各公共施設の避難所としての 機能強化について

問 最も避難所として開設されることが多いふれあいホールの機能強化について、優先的に取り組むべきと考える。備蓄品については充実してきているが、やはり一番必要なのは電力である。自家発電機の設置についてはこれまで何度も議会で提起されてきたが、諸々の条件で困難であるとのこと。そこで視点を変えて、忠中の

屋上にあるようなソーラーパネルをふれあいホールの屋上に設置することを調査研究してみてもどうか。

答 〈町長公室長〉これまで調査研究を行ったことはないが、避難所機能強化の為にソーラーパネル設置について調査研究を行う。



健康寿命を延ばす 多角的な取り組みについて

問 健康寿命と平均寿命を近づけることが大事だが、健康寿命が10年ほど低い。健診の充実や受診率の向上などにおいて取り組みがされているが、杉原町政での新たな取り組みが必要である。

答 〈健康福祉部長〉保健事業と介護予防事業が一体的となった取り組みを実施する予定である。

問 多角的と公約で掲げた以上、若年世代にも目を向けるべきである。

答 〈健康福祉部長〉新たな取組みとして食育教室、食育の普及啓発について考えている。



松井 匡仁 議員 (無所属の会)

電気・ガス・食料品等価格高騰 重点支援地方交付金の活用について

問 忠岡町におきましては、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援地方創生臨時交付金を活用し、忠岡町単独事業である『住民税非課税世帯等に対する生活支援金の支給』を進めていただき、それにより約1,200世帯もの所得200万円以下の課税世帯へ4万円の給付を行って頂きましたこと感謝いたします。

さらに、今回政府は、上記交付金の追加措置として、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を閣議決定いたしました。忠岡町への交付金額等は未だ通知されていないことは承知しておりますが、現在は町民全員が物価高騰の影響を受け、苦しんでおられますので、この交付金については、所得制限を設けず、給付金額は少なくなったとしても、町民お一人一人に対し、給付を行って頂きたいのですが、いかがお考えでしょうか？

答 〈町長公室長〉近年まれに見る円安の影響など、ここ近年でのエネルギー価格や物価の高騰は、賃金が上がらない中での国民生活に多大な悪影響を与えております。将来的にも、いまだ先が見通せないウクライナ問題など社会情勢は極めて不透明であり、今後もさらなる物価の高騰が懸念されているところでございます。

議員仰せの交付金につきましては、現在のところ国からは通知されておらず、詳細や交付金額については分かりませんが、交付金が交付されるようになりまして、このような状況を十分考慮しながら活用について考えてまいりたいと思います。



河瀬 成利 議員

(呈祥会・大阪維新の会)

交通環境の整備と魅力的な『まちづくり』について

問 町内を東西に繋ぐ道路として町道中央線、府道田治米忠岡線、町道大津川左岸線がありますが、特に通勤、通学時間帯は踏切周辺で交通渋滞がみられます。渋滞緩和、解消を図り、町の玄関口となる駅周辺の魅力向上や災害に強いまちづくりという点から、道路の拡幅や南海線の高架化等について検討が必要であると考えますが、いかがか。

答 〈産業まちづくり部長〉〈町長公室次長兼企画人権課長〉道路拡幅については、事業実施の可否を含め調査研究して行く。駅周辺のまちづくり、連続立体交差事業については、庁内関係部局、商工会、鉄道事業者との情報連携が重要。計画としての位置付等検討して行く。

LINEの活用について

問 証明書の請求や予約作業等の行政手続について、

LINEを活用することで、住民負担の軽減や行政サービスの向上に繋がると考えますが、いかがか。

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉行事等の申込みや予約について検討して行く。

大阪関西万博について

問 2025年開催に向け、大阪関西万博の準備が進められています。持続可能なまちづくりの一層の推進と本町のまちづくりのPR等を行う上においても、万博に参加、活用することが重要であると考えますが、町としていかがお考えか。

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉地域の未来社会を創造する全国の自治体ネットワークとして、「2025年日本国際博覧会とともに地域の未来社会を創造する首長連合」が設立され、本町も賛助会員として加入しています。

町公用車にマグネット用の啓発ステッカーの配置やチラシ、ポスター等の配布を行っています。今後、啓発事業やコラボレーション事業について検討して行く。



小島 みゆき 議員

(公明党)

お悔やみコーナーについて

問 死亡後の行政の手続きが煩雑で大変、住民サービスの向上の為に一箇所で手続きができ、その後の金融機関や年金事務所また、何をすれば良いか等のご相談も親切に案内できる窓口、お悔やみコーナーを作っていただきたい。

答 〈住民部部長〉他の自治体で実施している事は承知しているが、本町では、きめ細やかな対応が可能であるが、手続きを円滑に進めるために今後検討していく。

女性の負担軽減について

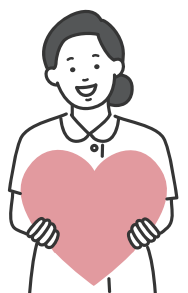
問 生理の貧困についてですが、公明党議員団で要望書を提出させていただきお困りの方に社協で配布、小中学校でも保健室に配置していただきました。配布件数と現在も継続できていますか。

答 〈教育部理事〉社協76世帯、小中学校は月平均3～4名が取りに来て現在継続中。

問 「生理の貧困」が社会問題となり日本でも、多くの自治体や施設で無料配布をしている。近隣の熊取町では、庁舎5カ所のトイレにOiTr(オイテル)(無償提供機器)が設置され、熊取中学校にはトイレに生理用品を設置されています。泉南市でも小学校1校のトイレに設置されています。泉大津市は、公共施設、市内11の小中学校の女子トイレにも設置されています。保健室で受け取る形の時には、月に数回しか申し出が無かったものがトイレに常備するようになってからは、1ヶ月に20～30個ほど使用されています。公共施設でもトイレにペーパーがあるように、生理用品も必要な時に無料で使ってもらえるようにしたと、本当に素晴らしい取り組みだと思います。ぜひ、忠岡町でもそのような思いで取り組んでいただきたい。

答 〈教育部理事〉学校のトイレは現状困難。

〈町長公室次長〉オイテルは、役場、文化会館等に令和5年4月をめどに設置予定。





北村 孝 議員 (公明党)

地域介護・福祉空間整備施設 交付金について

問 年々、激甚化、頻発化する自然災害や感染症等から施設を利用している高齢者等を守るための取り組みを後押しすることは大変に重要であり、事業者のニーズを把握しながら地域介護、福祉空間整備等の施設整備補助金を積極的に活用すべきと考えるが本町のこれ迄の取り組み、見解を伺います。

答 〈健康福祉部長〉平成22年度に当該交付金を利用してスプリングを整備した事業所があるほか、今年度につきましても、2件の問合せを頂いている。高齢者施設における生活環境の改善、及び、安全性の確保のための整備を推進し、施設利用者が安全・安心に過ごせることができるよう、交付金のさらなる周知や、制度の活用支援に努めて参ります。

発達性読み書き障害 (ディスレクシア)について

問 小中学校において、ディスレクシアの疑いのある児童、生徒をどの程度把握されているのか。また、ディスレクシアの疑いのある児童、生徒を早期に発見できるよう取り組むことも必要と考えるが。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉ディスレクシアの疑いのある児童、生徒については、学校にも確認をしましたが、現時点ではない状況です。早期発見の取り組みについては、就学前から子どもにとっての困り感を心配される保護者への就学相談を丁寧に行い、就学前施設や保健センターと連携しながら把握に努めております。



二家本 英生 議員 (日本共産党)

気候危機を真剣に考えるため、 ゼロカーボンシティの宣言を

問 地球温暖化対策は緊急の課題である。各自治体で、2050年二酸化炭素(CO2)実質ゼロを目指すため、ゼロカーボンシティを宣言している自治体も多い。忠岡町も宣言を。

答 〈住民部次長〉本町はCO2吸収源の山林はない。温室効果ガス排出削減に係る技術が進めば、2050カーボンニュートラルも可能だが、現在、その裏付けがない。〈町長〉現状は考えていない。

公民連携方式での想定費用について

問 8月に議会へ示された公民連携方式の費用想定の中で、「施設整備費の行政負担はなし」の報告を受けた。しかし、ごみ処理委託料の中に、各事業費が上乗せされるのではないか。

答 〈住民部長〉施設の建設等は事業者が負担するので、ごみ処理委託費用に含まれることはないと思う。既存施設の解体費用やその他周辺整備については、今後の協議によって決められていく。

問 CO2排出抑制のため、カーボンプライシング(炭素の価格付け)を導入している国がある。今後は、CO2排出量に負担が発生する可能性がある。また、物価や人件費などの上昇で、ごみ処理委託料が当初の想定価格より高くなるリスクもある。対応は。

答 〈住民部長〉委託金額の変動については、双方の協議の上、契約に基づき見直しをされると考える。

児童発達支援センターの設置について

問 第2次障がい児計画で、障がい児とその家族の相談や療育など、地域の中核的な拠点として、児童発達支援センターの設置が目標となっている。設置に向けた進捗状況は。

答 〈健康福祉部長〉町独自の設置は、財政的に大きな負担となる。圏域での確保に努め、本町の対象者も利用できるよう近隣市と協議する。



河野 隆子 議員 (日本共産党)

ごみ焼却施設は 産廃施設建設ではなく、広域化で

問 気候危機と言われている中、行政はCO2削減を進めるのが本来の仕事。産廃施設を建設し、200トンのごみを焼くことは、CO2削減に逆行する。

住民と一緒に、ごみは減量化、リサイクル化に努められよ。

答 〈住民部長〉新施設は再生可能エネルギーを生み出すこともできる。環境的に著しく悪くなるものではないと考えている。民間施設でも、できるだけリサイクルについて協議していきたい。

問 泉北環境整備施設組合は公であり、監視もでき安心である。広域化に進んでこそ、忠岡町は公的責任を果たすことができるのではないか。

答 〈住民部長〉公民連携協定方式を一番優先して進めている。モニタリングシステムでしっかり監視をしている。

インフルエンザ 予防接種の助成を子どもにも

問 インフルエンザと新型コロナの同時流行が心配されている。子どものインフルエンザ予防接種費用は1回約3,500円かかる。経済的負担軽減のため、子どものインフルエンザ予防接種に補助を。

答 〈健康福祉部長〉インフルエンザ予防接種は任意である。現時点での助成は難しい。

高すぎる補聴器に助成を

問 高齢者の聞こえづらさを放置すると認知症のリスクを高めると言われている。低所得者も購入できるよう補助を検討されよ。

答 〈健康福祉部長〉低所得者の補助につきましては、近隣市町村の動向を注視しながら検討していきたい。



是枝 綾子 議員 (日本共産党)

住民合意のない 産廃焼却施設の誘致は、キツパリ断念を

問 10地区で行われた住民説明会の参加者からは、「事業者が決まらなと詳しいことが分からないでは、説明になっていない」との感想が出ている。

「広報ただおか」や住民説明会のタイトルにも「産廃」という言葉が一切出ていないではないか。

答 〈住民部長〉ホームページや情報公開コーナーでいろいろと情報公開している。産業廃棄物のワードが少ないことを踏まえ、検討事項が進んだ段階に応じて住民皆様に情報提供と公開をしてみたい。

問 この産廃誘致計画の事業主体はどこか。

答 〈住民部長〉産廃処理施設の民間事業者が事業主体となる。

問 令和5年1月の臨時議会で「基本協定」を議決してしまったら、もう後戻りできないのではないか。

答 〈住民部長〉本町に著しく不利な条件が(相手事業者から)提示された場合は(次の段階の)「実施協定」の締結は行わず、双方合意するまで協議を重ねる。

問 事業決定してから住民合意を得ていくというのは、順序が逆ではないか。住民合意が得られているとお考えか？

答 〈住民部長〉いろんな事業は、住民全ての合意を得てから進めるということではない。進むべき道を詳細に調査し選択をしていく中で、住民に細かく情報公開、説明をしていく。

留守家庭児童学級の保育時間を 午後7時まで延長を

問 高石市以南の8市4町で、留守家庭児童学級の保育時間が午後6時までなのは、忠岡町だけである。指導員の応募が無く不足しているのであれば、町職員を配してこの4月から午後7時までの延長を。

答 〈教育部長〉指導員を募集しても応募がないため、現在2名不足している。時間延長は非常に難しい。指導員確保に努力していきたい。





勝元 由佳子 議員 (改革忠岡)

学童保育の預り時間延長について

問 子育て世帯住民から「本町の学童保育の預り体制がネックで仕事に差障るため、他市へ引越そうかと考えている。すでに同理由で町外へ引越した子育て世帯もある。」との相談を受けた。

預り時間を延長できない理由は人員不足、つまり人件費の問題である。女性の社会進出が進み、遅くまで子どもの預りを希望する共働き世帯は比較的高所得世帯であることが多いことから、遅い時間帯の預り料金の値上げ※(受益者負担)により人員を確保し、近隣市よりも預り時間を延長した方が共働きの子育て世帯の本町への転入も見込めて町にとってプラスになるのでは?(※減免措置含む)

答 〈教育部長〉近隣市町も受益者負担を導入していることから、本町でも検討すべきと考えている。

今後のゴミ処理事業計画について ～住民が扇動されないための対応を～

問 本町が示す今後のゴミ処理事業計画(公民連携方式)に反対する一部住民らが産廃施設に対する単なる悪いイメージ等、非常に根拠に乏しい情報等を町内にビラ配付しているが、こうした「感情論に走っている、あるいは住民の不安を闇雲に煽っているようにも見受けられる情報」の発信・拡散により、知識の乏しい多くの一般住民が扇動され、結果的に本町の今後のゴミ処理事業計画がおかしな方向に進まないか大変危惧している。住民が扇動されないよう正しい情報をもっと積極的に発信すべきではないか? また、法的措置の検討は?

答 〈住民部長〉HPや広報以外にも、本事業内容を住民に詳しく説明し伝えることも前向きに検討していきたい。また、法的措置よりも事業内容を真摯に住民に伝え続けることが我々の責務だと考えている。

議 会 の 流 れ

忠岡町議会の定例会(定期的に開く会議)は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。
開会から閉会までの議事は、おおよそ次のような手順で進められています。

招 集		
本会議 1日目	開会	● 招集：町長が行います。
	会期決定	● 会期：開会から閉会までの期間。
本会議 2日目	↓	
	一般質問	● 一般質問：議員が町長等(執行機関)に対し、町の施策の状況や方針などについて質問。
	↓	
	議案上程	● 議案：議会で議決を要するすべての案件。
委員会審査	↓	
	議案説明	● 委員会付託：議案などを専門的かつ詳細に審査するため担当の委員会に任すこと。 (忠岡町議会では、総務事業常任委員会と福祉文教常任委員会の2つの委員会があります)
	↓	
本会議 3日目	委員会付託	● 委員会審査：本会議ですべての議案を詳細に審議することは効率的でないため、いくつかの「委員会」に分かれて予備的・専門的に詳しく調べること。
	委員長報告	● 委員長報告：委員会での審査の経過や結果を本会議で報告すること。
	↓	
	討論	● 討論：議案などについて、賛成・反対の意見を述べ賛同を求めること。
	↓	
閉会	採決	● 採決：議案などについて、賛否の意思を諮ること。
	↓	

令和3年度決算審査特別委員会 審査報告

- 開催日：令和4年10月18日～20日
- 決算審査特別委員会委員
委員長：河野 隆子(日本共産党) 副委員長：今奈良 幸子(呈祥会・大阪維新の会)
委員：小島 みゆき(公明党)・是枝 綾子(日本共産党)・松井 匡仁(無所属の会)・前川 和也(呈祥会・大阪維新の会)
オブザーバー：和田 善臣 議長

○ 一般会計決算の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年度	前年度	増減額
歳入決算額	8,081,072	9,216,104	△1,135,032
歳出決算額	7,515,372	9,198,507	△1,683,136
差引額	565,700	17,597	548,103

■ 歳入決算額 80億8,107万2千円(前年度比12.3%の減)

前年度と比べて11億3,503万2千円の減額となった。

主な要因は、国庫支出金で特別定額給付金事業補助金の減や地方債でグリーンセンター整備事業債が減となったこと等である。

■ 歳出決算額 75億1,537万2千円(前年度比18.3%の減)

前年度と比べて16億8,313万6千円の減額となった。

主な要因は、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特別定額給付金事業の反動減や積立金において、ふるさと忠岡応援寄付金に係る基金積立金の減となったこと等である。

[令和3年度主要な施策・事業]

・総合防災マップ作成事業	1,155万円	・忠岡町緑の基本計画改定事業	337万7千円
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	7,215万4千円	・移動式呼吸器用高圧エア・コンプレッサー整備事業	407万円
・(仮称)東忠岡地区認定子ども園整備事業	2億4,586万7千円	・救命救急士養成課程負担金	125万3千円
・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	1,276万6千円	・忠岡町適応指導教室等運営事業	264万4千円
		・忠岡小学校屋外トイレ改修事業	3,740万円

■ 決算収支

令和3年度の参入歳出差引額(形式収支)は、5億6,570万1千円の黒字となった。

○ 特別会計決算の状況

(単位:千円)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業勘定特別会計	1,836,638	1,826,871	9,767
介護保険特別会計	1,708,384	1,688,725	19,659
後期高齢者医療特別会計	465,427	460,002	5,425

■ 国民健康保険事業勘定特別会計

令和3年度の国民健康保険事業勘定特別会計決算は、歳入で18億3,663万8千円、歳出で18億2,687万1千円となり、前年度に比べて歳入は1億1,316万7千円、6.6%の増、歳出は1億2,543万8千円、7.4%の増となった。歳入歳出差引額(実質収支)は、976万7千円の黒字となった。

■ 介護保険特別会計

令和3年度の介護保険特別会計決算は、歳入で17億838万4千円、歳出で16億8,872万5千円となり、前年度に比べて歳入は4,605万7千円、2.8%の増、歳出は8,812万5千円、5.5%の増となった。歳入歳出差引額(実質収支)は、1,965万9千円の黒字となった。

■ 後期高齢者医療特別会計

令和3年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入で4億6,542万7千円、歳出で4億6,000万2千円となり、前年度に比べて歳入は748万1千円、1.6%の増、歳出は605万9千円、1.3%の増となった。歳入歳出差引額(実質収支)は、542万5千円の黒字となった。

○ 下水道事業決算の状況

(単位:千円、税込)

下水道事業決算	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	843,249	756,782	86,467
資本的収支	396,653	775,052	△378,399

収益的収支差引額は、8,646万7千円の純利益となった。
資本的収支差引額は、3億7,839万9千円の収支不足となった。
この収支の不足は資本的収支調整額で補填する。

質疑応答 <部局ごとの質疑>

問 ふるさと納税応援寄附金の件数と額が下がっているが、この原因をどう分析しているのか。

答 巣ごもり需要の落ち着き、ポータルサイトの取り組み方、返礼品の偏りが原因とみている。

問 防犯カメラ設置費補助金について、効果的な設置ポイントがあれば自治会へ働き掛けてみてはどうか。

答 警察からの要望を聞き地域に伝えることは可能だが、費用負担もあるので地域の了解を得ながら進めていきたい。

問 保育料の滞納に対しての不納欠損の処理対応は？

答 処理の方法について調査研究を進め、体制整備を図ってまいりたい。

問 スクールカウンセラーの回数と相談件数は？増やす必要は？

答 年間25回で、相談件数は636件、児童158件、保護者62件、教員416件。特に聞いていない。

問 台風の時に避難所が開設されましたが、薄いマットしなく毛布の用意などの心使いをしていただきたい。

答 近隣の市町の動向も踏まえ検討する。

問 支援学級にいる子どもさんへ手厚くできるように、他市のように1人でも多く介助員、支援員をお願いしたい。

答 支援学級担任と連携して子どもたちに、しっかりきめ細やかな支援をしていく。

問 国保料が高すぎるのに、2,000万円の単年度黒字で、国保基金は6,000万円もたまっている。保険料の引き下げを。

答 基金は条例で保険料引き下げに使えない。大阪府に要望する。

問 介護保険のスタート時は、保険料の基準額が月2,500円くらいだったが、今や月6,410円にも。一般会計から繰り入れして、介護保険料引き下げを。

答 繰り入れはできない。

問 町営住宅の跡地の活用について、用途が決まるまで駐車スペースや広告スペースとして企業に貸し出しできないか？

答 町営住宅については、跡地を使えるのかどうか、使えるのであればどのような用途で使えるかを現在、大阪府と協議中であります。

問 庁舎横の雑木林について、手入れがされていないため鬱蒼としていてある時期になると鳥の被害が発生しています。手入れを行うべきと思いますがいかがでしょうか？

答 鳥による被害や防犯上、どこかのタイミングで適切に対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。

総括質疑 <大局的な質疑>

問 財源確保は非常に難しい。無駄がないかどうか事業の精査だけでなく、とりに行く、稼ぐことも財源確保の一つである。分かりやすいのはふるさと納税であるが、それ以外にも方策を考えていかなければならない。

答 非常に難しいことである。国や府に働きかける営業マンとして色々な手を考える。

問 当町職員の人員確保がされていない原因をどう考えているのか？

答 保育士は絶対数不足ではないのかなと思う。受け身で情報を出すにとどまっていた。土木や建築、保健師は絶対数不足なのかなと思う。

問 働き方の制度の仕組みを変えていくことも検討が必要なのでは？

答 保育士は、会計年度任用職員は朝の二時間だけでもいいという形を取っている。

問 マイナンバーカードの普及率は、国では50%程だが、忠岡町での現状と保険証機能等の現状は。

答 9月末現在、交付率が43.49%、保険証機能の紐付けは個人でもできるので把握できてない。

問 学校体育館にエアコンの設置を。近隣市では設置がされ、忠岡町だけが遅れているのではないかな。

答 ランニングコストがかかる。近隣市の状況を精査し、財政当局と調整していきたい。

問 シビックセンターの雨漏り、特に南館がひどい。応急措置と対策を。

答 仮補修の準備をしている。もうしばらくお待ちを。

問 浜霊園の空いている区画などを整理統合して永代供養合同墓を設置することは出来ないか？

答 浜霊園の在り方と、墓地区画の返還に伴う返還金とあわせて、引き続き墓地管理委員会にて協議してまいります。

問 年度末の公共工事が集中している時期を外して、繰越明許にて発注を行う自治体もあるが、それについて忠岡町は、どのように考えるか？

答 公共工事における発注の時期につきましては、原課の適切な時期をもって工事対応を行うという事もあり、繰越明許という対応については難しいと考えます。



令和3年度決算審査に対する意見集約

呈祥会・大阪維新の会

杉原町長の初めての年間を通した予算執行であったが、財政健全化指標を早期健全化基準、財政再生基準内に収まるよう財政運営ができた。各基金は上積みされ町債残高を減らすことができた。経常収支比率は20年ぶりに100%を切ったが、引き続き財源確保と歳出削減に取り組み柔軟な財政運営ができるようにしなければならない。各施策で一層取り組めないのは人員不足が理由である。人口減少が進む中での持続可能な行政には、自治体の在り方について様々な視点で考えることが求められる。子ども医療費助成が18歳まで拡大し東忠岡こども園が開園する。ごみ処理問題も解決へと前進させている杉原町長の町政運営に期待し、本決算を認定する。

公明党

令和3年度一般会計及び特別会計の歳入決算総額は約130億円で、歳出決算総額は約129億円になっており、個人町民税、法人町民税が減だが、固定資産税、地方交付税、地方消費税交付金等々により財政調整基金も取り崩さず黒字決算となった。コロナワクチン接種も65歳以上の高齢者で91%以上、12歳以上で73%の方が2回接種を終えている。感染予防に全力で取り組み、アフターコロナ社会に向け少子高齢化の進展や深刻化する児童虐待、子どもの貧困や学習機会の保障などの福祉や教育をはじめとする諸課題に対しても決してなおざりにせず、取り組みを積極果敢に進めていただくことを要望し、本決算を認定いたします。

日本共産党

評価点は、不登校児童・生徒のための適応指導教室の開設、幼児教育の給食費副食費の無償化、町独自の少人数学級の取り組み、忠岡小学校の屋外トイレの改修工事など。その他、一人暮らし高齢者などへの上下水道料金減免制度の継続、粗大ごみの電話申し込みを直営に戻されたこと。

問題点は、新型コロナ対策で、国からの交付金以外に町独自の支出が45万1,000円と少ない。個人事業主への支援やPCR検査など対策を。産廃焼却炉建設で、まだ使えるクリーンセンターを令和6年3月での閉鎖はもったいない。検討する時間の確保を。高すぎる国保料・介護保険料は引き下げを。コロナ禍、町民の命と暮らしを支える町政運営を強く求め賛成します。

無所属の会

個人・法人町民税ともに前年度を約1,700万円上回る増収となったことは喜ばしいが、町税を伸ばした要因の法人町民税について、本町には、円安の影響を受ける企業が多く、事業収益の悪化が心配される所であります。

自主財源は、ふるさと応援寄付金が約5,300万円の減収となり取組の強化が必要ですが、まずは、忠岡町の足元を支える法人町民税を伸ばし続けて頂きたいと考えます。

歳出においては、今年度からこども医療助成を18歳まで拡大をするため扶助費の増額が見込まれており、国の早期制度改正を期待する所であります。

予算においては、ふるさと応援寄付金積立を皆さんの暮らしの中で必要な所に活用して頂くことを期待し、決算を認定します。

審査結果

上記決算審査特別委員会の結果を受け、「令和3年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定」並びに「令和3年度忠岡町下水道事業決算認定」については、全会一致により認定することに決定いたしました。



令和4年度忠岡町議会議員研修を開催しました

- ・開催日：令和4年10月28日(金)
- ・テーマ：議会質問特別研修 ～理想の地方議員になるために必要なこと～
- ・講師：宮本 正一 氏
- ・講師経歴：現 吉野町役場政策アドバイザー、「日本公共経営研究所」代表
元 寝屋川市議会議員(5期20年)
寝屋川市議会議長、枚方寝屋川消防組合副議長
- ・参加者：忠岡町議会議員(12名全員)

〈研修について〉

研修では、理想の地方議員として、これからの地方自治体、議会議員に求められていることや議会と執行機関との関係、議員と議会の権限について、あらためて学ぶとともに、議会で一般質問する際の質問づくりのポイントや手法等について、これまでの御自身の議員経験等を基にした内容の説明があり、今後の議会での質問力の向上に繋がるものでありました。

引き続き議会では、議案の審議や審査、並びに政策立案能力の向上等を図るため、研修会等を実施して参ります。



令和4年度町村議会議員正副議長等研修会が開催されました

- ・開催日：令和4年11月1日(火)
- ・場所：大阪市中心区 シティプラザ大阪
- ・テーマ：地方議会の役割
- ・講師：青山 彰久 氏
- ・講師経歴：現 フリージャーナリスト
元 読売新聞東京本社編集委員
- ・参加者：忠岡町議会 議長、副議長

〈研修会の内容〉

デジタル田園都市国家構想の中長期的な基本的方向を提示する「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定が進められている現在において、地域社会の課題解決・魅力向上について、地方議会・議員の向き合い方や役割について講演をしていただきました。



関西国際空港T1リノベーション視察会が開催されました

開催日：令和4年11月4日（金）
場 所：関西国際空港 ターミナル1新国内線エリア
参加者：忠岡町議会 議長、副議長

〈視察会の内容〉

南大阪の市町議会議員を対象に関西国際空港T1リノベーション視察会が開催され、参加をしてまいりました。2025年大阪・関西万博を目指した関西国際空港T1リノベーション工事において、令和4年10月26日（水）にオープンした関西国際空港新国内線エリアのなかでも、一般エリアから保安検査場、到着フロアまでじっくりと視察することができました。一般エリアでは、大阪でも馴染みのある飲食店が参入し賑わいに期待が高まりました。

関西国際空港については、関西経済全体の活性化や成長の牽引役として、又引き続き「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、泉州地域の発展に向け地元市町と一体となった地域の活性化策への取組み等について、本町議会といたしましても支援してまいりたいと思います。



徳島県美馬市議会福祉文教常任委員会の皆さんが視察来庁されました

令和4年11月11日（金）に、徳島県美馬市議会福祉文教常任委員会委員長の委員5名と、議会事務局員1名、市職員1名の計7名が、公私連携幼保連携型認定こども園について、視察来庁されました。本町からは議会議長、議会事務局、教育委員会職員3名が対応し、視察事項についての説明と質疑応答が行われました。

また、公私連携幼保連携認定こども園ピープル忠岡チャイルドスクールの現地視察（外観視察）と併せて、正木美術館の鑑賞もされ、本町を知っていただくよい機会となりました。



第66回町村議会議長全国大会が開催されました

開催日：令和4年11月9日（水）
場 所：東京都渋谷区 NHKホール
参加者：忠岡町議会 議長

〈大会の内容〉

南雲全国町村議会議長会長のあいさつに続いて、岸田文雄内閣総理大臣（メッセージ代読）、細田博之衆議院議長、長浜博行参議院副議長、柘植芳文総務副大臣、和田義明デジタル田園都市国家構想担当・地方創生担当副大臣、遠藤利明自由民主党総務会長、荒木泰臣全国町村会長が祝辞を述べられました。

大会では「地方議会の位置付けを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現」、「新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策等」、「東日本大震災等の大規模自然災害からの復興及び災害対策」についての特別決議など各種要望、決議が朗読され、それぞれ満場一致で決定されました。

大会終了後には、外交政策研究所代表 宮家邦彦氏による講演（「最新の国際情勢と日本経済に与える影響」）が行われました。



編集後記

暗いニュースが多い中、昨年開催されたサッカーワールドカップは世界中を熱くしました。中でもサムライジャパンの活躍（過去優勝経験のある2か国の強豪チームを破るなど）は素晴らしいものでした。結果はPK戦で敗れベスト16で終わりましたが選手の躍動は私たちに勇気と感動を与えてくれました。まだ見たことがない景色（ベスト8以上）を見るためには個の力を高め勝ち切る力を身に付けることに尽きると感じました。

徐々に進めてきた本町議会の改善も昨年6月から運営の仕組みも変え町民の方々にも多くの会議を傍聴して頂けるようになりました。また先の改選時から4年近くを経て、女性議員が12名中5名、一年生議員が12名中7名と女性の進出と若返りが図られ、今後目指すところは議員一人一人が研鑽に励み、互いに切磋琢磨しサムライジャパン同様、「個の能力」を高めていくことが肝要だと考えています。その中で、今しばらく時間をいただきたいと思います。優れた政策を提案し、町政に大きく寄与できるようワンチーム忠岡の考えの下、努力してまいります。

忠岡町議会広報委員会